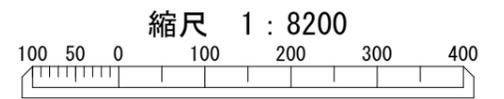
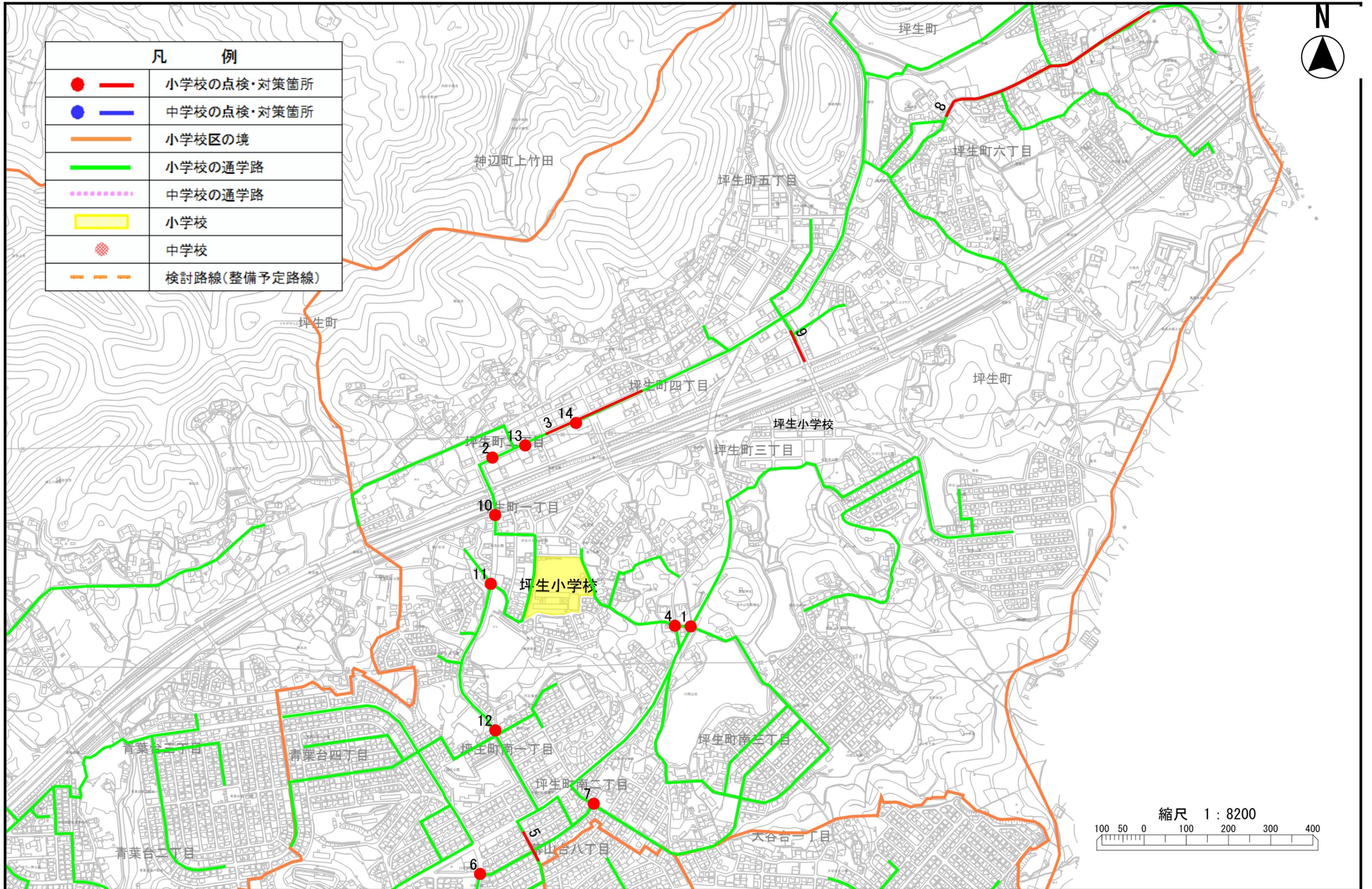


# 坪生小学校

凡 例	
	小学校の点検・対策箇所
	中学校の点検・対策箇所
	小学校区の境
	小学校の通学路
	中学校の通学路
	小学校
	中学校
	検討路線(整備予定路線)



学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
坪生	1	2024	県道坪生バイパス坪生方面から信号機の有る川原山池に左折する時、登下校児童の存在が全く見えない。車の運転者は左折して初めて児童の存在に気が付くため大変危険。	【県】 路面標示（外側線、抑速ドット等）の修復	対応中	
坪生	2	2024	的面橋北先端に通学路の歩道があり、歩道内に電柱が立っているが、根元が凹になって歩行中に転倒の危険がある。	【県】 中国電力に修繕申入れ	全て対応完了	路面段差対応済み
坪生	3	2024	通学路で車道と歩道の境になる縁石（ブロック）があるが、20cm～30cmの物1個でつまずき転倒の危険がある。車が車道から歩道を横切り、私有地に入る所、又は田んぼ等に入る縁石の先端の黄色が消えて、つまずきの危険がある。	【県】 道路鋸の修復	対応中	
坪生	4	2024	児童がバイパス点滅信号を渡り、旧道を渡る所に横断歩道や停止線がなく、北側より来る車が石垣の関係で見えにくく危険。石垣の死角で車の飛び出しによるヒヤリハットあり。	【県】 路面標示の修復	対応中	【県】法定外路面標示（児童注意）の引き直し。
坪生	5	2024	バス通りへ向かう道で、頻度は少ないかも知れないが、左右から車が来る。「止まれ」もない。	【学校・地域】 ストップマークの設置 立て看板設置	対策内容決定	

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
坪生	6	2024	登校班出発時に横断歩道がない場所を通る。登校時は保護者が当番で誘導、下校時は子ども達のみ。見通しが悪いわけではないが、少しカーブになってるので、子どもが通る道と知らないと危ない。特に直進してくる車はスピードが出てることもある。	【学校・地域】 ストップマークの設置 立て看板設置	対策内容決定	
坪生	7	2024	交差点を児童が横断する。横断歩道がなく、バスも通るし、車も多く通行するので危険。	【学校・地域】 ストップマークの設置 立て看板設置	対策内容決定	
坪生	8	2024	交通量が多く、車のスピードが速い。歩道もなく危ない。	【学校・地域】 ストップマークの設置 立て看板設置	対策内容決定	
坪生	9	2024	児童が転落する危険性がある。ガードレールはあるが、隙間があり通り抜けてしまう。	【学校・地域】 立て看板設置	対策内容決定	
坪生	10	2024	的面橋から市道（側道）を横断する児童が多いが、横断歩道がない場所を通行しており大変危険。	【警察】 横断歩道の新設（地域の合意形成後） 【市】 物理的狭さくまたは強調表示変更	対策内容決定	【警察】 地域からの回答待ち

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
坪生	11	2024	横断歩道は設置されており、車両へ注意喚起を促す道路標示もあるものの、抑止力効果は薄く、車両のスピードダウンに繋がっていない。見通しが良いため車両のスピードが速く、歩行者の飛び出しなど危険を感じる。	【市】 路面標示の修復 ドット線、横断歩道カラーリング	対策内容決定	
坪生	12	2024	横断歩道は設置されており、車両へ注意喚起を促す道路標示もあるものの、抑止力効果は薄く、車両のスピードダウンに繋がっていない。横断歩道の直近にバスの停留所があり、横断中にバスの後方から出てきた車両と歩行者が接触するヒヤリハットが発生している。上り坂で見えにくい。青葉台方面と鶴ヶ丘方面と交差する箇所であり、交通量が多く、近年では横断者と通行車両との渋滞を引き起こす場面が多くなっている。	【市】 路面標示の修復 ドット線設置、横断歩道カラーリング、バス停移設	対策内容決定	
坪生	13	2024	保護柵がなく、農業水路に転落の危険性がある。	【県】 転落防止柵の設置	対応中	【県】横断防止柵及び転落防止柵の設置。
坪生	14	2024	保護柵がなく、農業水路に転落の危険性がある。保護柵（約2m）がなく、安全対策として、以前トラシマロープで対応されているが、隙間が広く老化している。	【県】 転落防止柵の設置	対応中	【県】横断防止柵及び転落防止柵の設置。